

# 地域女性活躍推進事業【大田原市】

## 地域の実情と課題

保守的で、改革や新たな取り組みが苦手な地域性のため、男女共同参画の意味は理解していても地域社会においては未だ男性社会である。また、政策方針決定の場への女性の参画も特定の人に限定されている実情である。

真の男女共同参画社会、ワークライフバランスのとれた生活を目標に各種講座等を開催してきたが、受講者が固定化してしまい、広く多くの市民への普及につながらないことが課題となっている。

## 事業の特徴

ワンストップ就労相談窓口の設置により、ワークライフバランスの具体的な目標が立てやすく、就労に結びつくことが期待できる。

就労支援、子育て支援を同時に行うことで、一つ一つの課題を明確にし、解決策を導き、女性自身の働き方に対する考え方の広がりを持たせることが期待できる。

## 事業の効果

ワンストップ就労支援を実施することで、一人で悩まず相談できる場があること、また同じ状況にある母親同士の交流を持つことで、色々な選択肢が生まれることが期待できる。

## 目的・目標

全国的に出産後の離職率が改善しない現状を鑑み、男女問わず全ての人が活躍できる環境づくりの支援のため、女性(母親等)が多く集う子育て支援センター等において、就労相談員や子育て相談員を配置し、社会進出にあたっての課題を探り、課題解決策を共に考え、一人一人が活躍するために必要なサービスを提供することを目的とする。併せて、ワークライフバランスの意識づけと働き方の多様性について、女性のみならず男性及び雇用者に情報提供することを目的とする。

- ・就労相談：目標件数50件に対し相談件数29件(58%)
- ・家庭相談：目標件数60件に対し相談件数25件(41%)
- ・起業相談：目標件数 5件に対し相談件数0件
- ・ワンストップ相談窓口を利用した方の就労件数：追跡調査不可能

## 連携団体

ハローワーク大田原

## 今後の課題

本事業を一過性の事業とせず、ハローワーク大田原と連携しながら継続させ、実現可能な男女共同参画社会を構築していく。  
アンケート結果を分析し、大田原市の新たな男女共同参画事業に反映させる。

# 事業の概要

## 【ワンストップ就労支援事業】

### ①子育てママの就業準備個別相談

日時及び場所

4月19日(火)	くろばね子育て支援センター
5月10日(火)	しんとみ子育て支援センター
6月14日(火)	ゆづかみ子育て支援センター
7月12日(火)	すみよし子育て支援センター
10月11日(火)	つどいの広場トコトコ
11月29日(火)	くろばね子育て支援センター
12月13日(火)	しんとみ子育て支援センター
1月17日(火)	ゆづかみ子育て支援センター
1月31日(火)	子ども未来館親子レクリエーションルーム
2月15日(水)	つどいの広場トコトコ

対象 どなたでも

相談件数 就労相談 29件 子育て相談 25件、 合計54件

### ②ワークライフバランス講座

日時 平成29年1月31日(火)

午前の部 10:30~11:30

午後の部 15:00~16:30

場所 午前の部 トコトコ大田原2階 子ども未来館親子レクリエーションルーム

午後の部 トコトコ大田原3階 市民交流センター視聴覚室

対象 午前の部、午後の部ともどなたでも

参加者 午前の部 10人(男性1人、女性9人)

午後の部 26人(男性10人、女性16人)

講師 工藤敬子氏(コミュニケーション&ワークライフバランスコンサルタント/  
有限会社フェードイン代表取締役)

テーマ 午前の部「子育てパパ・ママのハッピーワーキングスタイル」

ワークショップ形式により進行し、家庭と仕事の不安と解決法について意見交換を行いました。

午後の部「今から進めよう!『働き方改革』」

女性活躍が企業にもたらすメリットや、女性が活躍できる職場環境作りについてお話いただきました。

## 【事業効果の検証】(アンケートによる)

- ・子育てママの就業準備個別相談、ワークライフバランス講座においてアンケート実施
- ・次年度の大田原市男女共同参画審議会において、事業効果の検証会議の実施

